

報道各位

平成21年度 歯の衛生週間にあたって

日本歯磨工業会(会長 藤重貞慶)では、来る6月4日から始まる歯の衛生週間(6月4日～10日)にあたり、例年どおり、口腔衛生を呼びかける歯の衛生啓発ポスターを制作し、全国にお届けします。

また、当工業会では、ホームページを通じて、より親しみやすく、わかりやすいオーラルケア情報の発信や会員各社の情報の提供を行っています。本リリースでは、これらの活動内容をはじめ、日本歯磨工業会の活動についてご紹介します。

『歯の衛生週間の沿革』

歯の衛生週間は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として、昭和3年6月4日に「ムシ歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが、昭和24年から週間行事となりました。昭和27年には6月4日から10日までの1週間に定められ、昭和33年より「歯の衛生週間」として毎年実施されるようになりました。

『平成21年度歯の衛生週間について』

- ・目的：歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

- ・標語：「かみしめる 生きる喜び 歯と共に」

(和歌山県 海南市立日方小学校 6年 三宅将人くんの作品)

- ・本年度の重点目標

「住民主体による8020運動の新たな展開」

これまで実践してきた8020運動の更なる推進と、地域に根ざした生涯を通じた歯の健康づくりを効果的に進めるため、住民参加型による新たな8020運動の展開を目指して、

「住民主体による8020運動の新たな展開」を重点目標とする。

本件のお問い合わせ先

日本歯磨工業会

宮嶋 顕一郎

TEL 03(3249)2511

日本歯磨工業会 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <http://www.hamigaki.gr.jp/>

< 1 > 平成21年度 歯の衛生啓発ポスターの配布

当工業会では、来る6月4日から始まる 歯の衛生週間(6月4日～10日)にあたり、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』

厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会及び日本歯磨工業会

『デザイン』 イラストレーター ひこねのりお氏 (B3サイズ 多色刷り)

『平成21年度 標語』

「かみしめる 生きる喜び 歯と共に」

日本学校歯科医会が募集した小中学校の標語の中から

和歌山県 海南市立日方小学校 6年 三宅将人くんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」(厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標)

「一生、自分の歯で食べよう」(日本歯科医師会の標語)

「午後のスタートハミガキから」(日本歯磨工業会の標語)

『配布』

歯の衛生週間に先立ち、このポスター27万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活用』

このポスターは、歯の衛生週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いします。

「歯の衛生週間(6月4日～10日)」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしております。



< 2 > ホームページからの情報発信について

当工業会では、お昼の歯みがき率を向上させるために、平成 8 年度より「お昼の歯みがきキャンペーン」を独自に展開し、インターネット上にホームページ「“お昼休み”みがこうネット」を開設し、お昼の歯みがきを推進しています。「“お昼休み”みがこうネット」は、開設から 10 年以上が経過し、さまざまな情報発信に取り組んできました。

その結果、お昼の歯みがきを推進するだけでなく、各年代の生活者に対応したコンテンツを追加したり、年 2 回のキャンペーンを実施するなど、幅広い情報発信活動を行うようになりました。そこで、本年 4 月より「“お昼休み”みがこうネット」から「みがこうネット」へ、サイト名を改め、同時にトップページを改修し、生活者のみなさまへ有意義な情報をよりわかりやすく発信します。

「みがこうネット」リニューアル

【みがこうネット <http://www.hamigaki.gr.jp/> コンテンツ】

はみがき学校

「はみがき学級」「はみがき Q & A」「フッ素のお話」「はみがきクイズ」をまとめ直し、新しい情報も追加していきます。

OL カフェ

「お昼のはみがきリーダーズクラブ」「こんな話知ってる？」の 2 つのコンテンツに加え、「おやつレシピ」を公開しています。

3 月からの新コンテンツとして、「あなたの身近にいるみがく君ストーリー」募集（投稿企画）を行っています。

ファミリー広場

「パパ・ママ・キッズ歯育て講座」「はみがきゲーム」の 2 つのコンテンツに加え、日本歯磨工業会オリジナルのはみがきソング「はみがきソング」を公開しています。

新コンテンツとして、フォトキャンペーン入賞者へアンケートを実施する予定です。

ビジネスマン向け新コンテンツ「がんばれ！みがく君」スタート

お昼に歯をみがく率の低い男性へ向けて、基本のオーラルケアを楽しいアニメーションで提案する「がんばれ！みがく君」が、昨年 3 月からスタートし、第 5 話が公開中です。

歯の衛生週間企画「第 9 回標語募集キャンペーン」

本年も歯の衛生週間に合わせ、「歯の大切さ、歯をみがくことの大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに標語を募集し、歯の健康の関心を喚起すると共に歯磨の重要性を啓発します（4 月 1 日～6 月 30 日の 3 ヶ月間で展開中）。

最優秀賞の他に、優秀賞、ユニーク賞、ファミリー賞、佳作に選ばれた方には、賞金や記念品を贈呈します。また、選ばれた入賞作品は、当工業会の標語として幅広く活用していきます。

いい歯の日企画「健康な歯と笑顔フォトキャンペーン」の実施

昨年に引き続き、11 月 8 日のいい歯の日に向けて、「健康な歯と笑顔」をテーマに、インターネット上で写真を募集するキャンペーンを 8 月～10 月に実施します。昨年は、総アクセス数：5,436 件、応募作品数：79 作品でした。審査結果は、みがこうネット内に掲載しています。

< 3 > 平成20年度日本歯磨工業会の主な委員会活動のご紹介

歯科衛生士会及び歯科衛生士学校での特別授業開催

当工業会の技術委員会が中心となって歯磨剤の有用性について、口腔保健の専門家である歯科衛生士会や歯科衛生士学校での特別授業を実施しています。この特別授業は、人々に口腔保健の指導をする専門家の方々に歯磨剤の歴史、成分、機能、有用性、安全性などに関して正確な情報を提供することと、当工業会が発信した論文・啓発冊子についての質問に対応するため、平成5年7月から開始し昨年まで延べ216回開催しています。

平成20年度は、専任講師による10回の特別授業を行い、実施内容については大変好評を得ています。歯磨剤についての専門的な著書や正確な情報が少ない中で、最新の技術、知識などを提供させていただくことは意義深いことと考えています。

当工業会では、歯の健康・口腔衛生の重要性と歯磨剤の有用性を専門家の方々に理解を深めていただくために、今後も講師派遣制度を継続実施していきます。

広告審査会の開催と行政報告

当工業会の広告委員会では、第三者委員を招いての広告審査会を年2回開催し、公正な自主審査を通じて広告表現の適正化に努めています。また、その結果のレポートを作成し、厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課、東京都福祉保健局健康安全室薬事監視課、大阪府健康福祉部薬務課へ報告を行い、広告審査ならびに審査基準の信頼性を高めています。

今後も歯みがき等の広告表現の適正化に努めると共に、広告審査結果の行政報告を通じて自主審査の信頼性向上と広告表現の拡大を目指します。

医薬部外品歯みがき類の全成分表示実施について

日本化粧品工業連合会では、業界自主基準「医薬部外品の成分表示に係る基本方針」(以下、「粧工連基本方針」と略す)に従い、医薬部外品の全成分表示を平成18年4月から開始し、2年間の猶予期間を経て平成20年4月から完全実施となりました。

当工業会では、粧工連基本方針に合わせ、薬用歯みがき類(医薬部外品)についても全成分表示の実施を目指し、平成16年から配合目的名の記載免除や、粧工連作成の成分表示名称リストが使用できるよう東京都条例の改正要望等の活動を重ねて来ました。その結果、平成19年4月に都条例が改正され、成分表示名称リストの別名・簡略名使用が盛り込まれた改正「品質表示実施要領」が施行されました。

これを受け、歯磨公正取引協議会において、公正競争規約に基づく「歯みがき類の成分表示要領」に全成分表示を盛り込んだ改正案を公正取引委員会に届出を行い、平成20年4月より薬用歯みがき類の全成分表示が開始されました(猶予期間2年)。

以上

ホームページでのアンケート結果からのご報告

データの概要：2008年4月～6月に日本歯磨工業会のホームページ上のアンケートに答えていただいた全国の10代～60代以上の男女2,641人。調査期間は2008年4月～6月。比較データとして2005年、2006年、2007年の同時期のデータを一部引用しています。

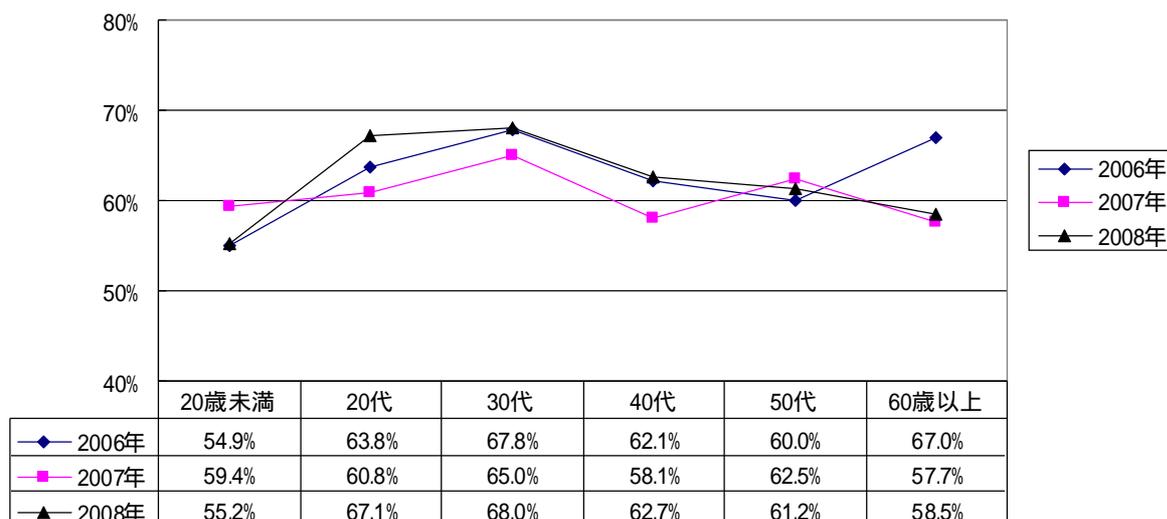
お昼に歯をみがいている率

このデータは、標語募集に応募された方のものです。そのため、例年と同じく、オーラルケア意識の高い方がたいへん多くみられます。

お昼に歯をみがいている率は、全体で63.8%（女性：71.2%、男性：54.2%）で、昨年同様、女性は70%を超え、男性も54%を超えました。年代別に見てもどの年代も55%以上という高い率を維持しています。ちなみに2006年の同じ調査では63.4%、2007年は61.3%の人がお昼に歯をみがいていました。

(2005年に厚生労働省が実施した歯科疾患実態調査では、1日3回みがく人は20%強でした)

年度別・年代別 お昼に歯をみがいている人の割合 (グラフ1)



毎日のお口の手入れでハミガキ・ハブラシ以外に使っているものの使用率

2006年のアンケートからハミガキ・ハブラシ以外の使用率を尋ねています。

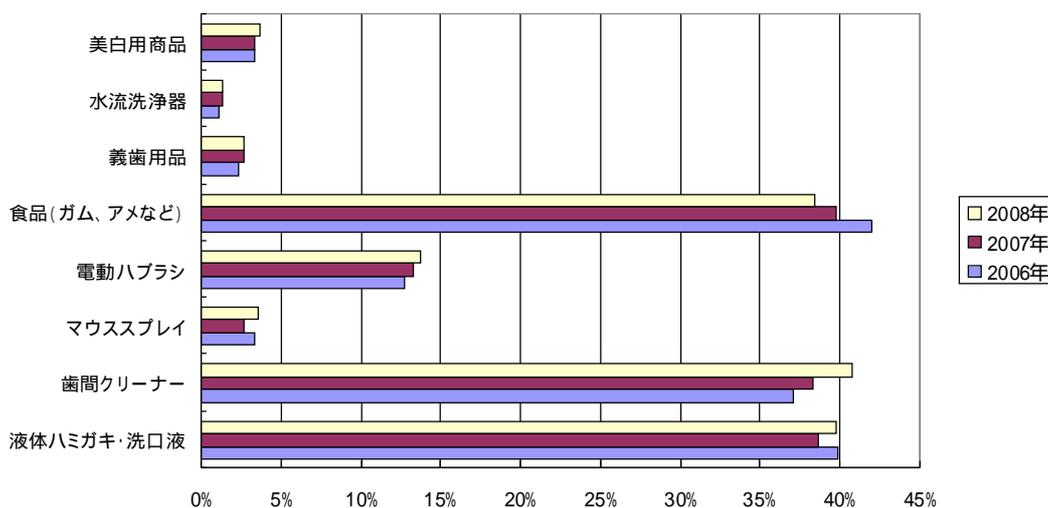
2008年のデータでは、液体ハミガキ・洗口液（39.8%）、歯間クリーナー（40.8%）、食品（38.4%）を日常的に使用している人がほぼ40%です。特に歯間クリーナーの使用率は、年々向上しており（グラフ2）、年代別では、40代、50代の使用率が高く、40代の使用率は、50%を超えています（グラフ3）。これは、厚生労働省が策定した「健康日本21」の成人期の歯周病予防のための目標をほぼクリアしたことになります。

健康日本21 <成人期の歯周病予防のための目標>

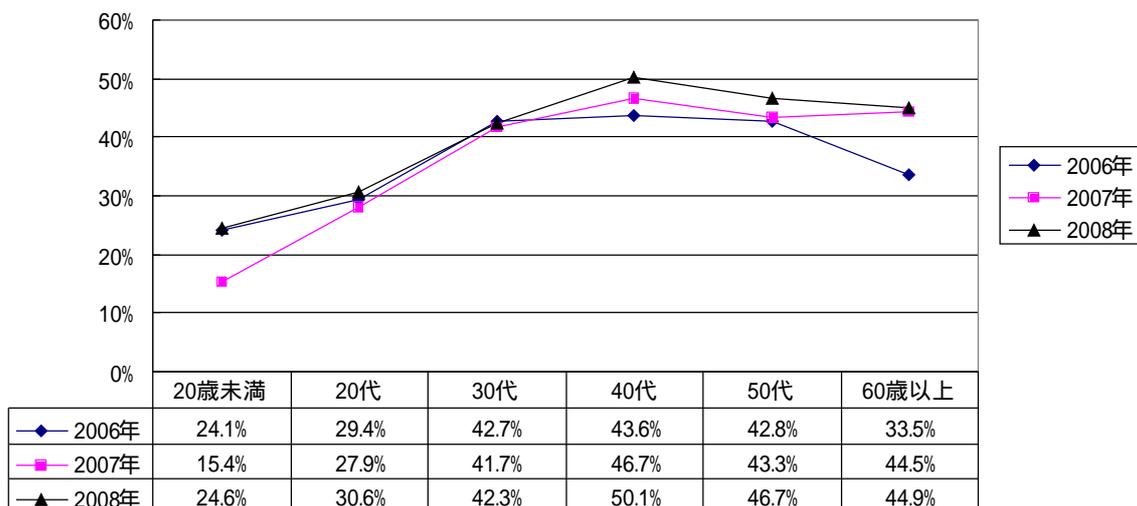
40、50歳における歯間部清掃用器具を使用している者の割合をそれぞれ50%以上にする

*現状基準値:35～44歳 19.3%、45～54歳 17.8%(平成5年保健福祉動向調査)

毎日のお口の手入れでハミガキ・ハブラシ以外に使っているものの使用率（グラフ2）



歯間クリーナー（歯間ブラシ、デンタルフロスなど）の年代別使用率（グラフ3）



当工業会では、今後も会員各社が協力して、ハミガキ・液体ハミガキの有用性だけでなく、歯みがきの場面や使用するものなど、より効果的なオーラルケアの方法を積極的に情報発信し、8020運動を推進してまいります。

以上